



令和6年度の決算状況

皆さんが納めた市税をはじめ、国や北海道からの交付金や借入金などがどのように使われたかをお知らせします。

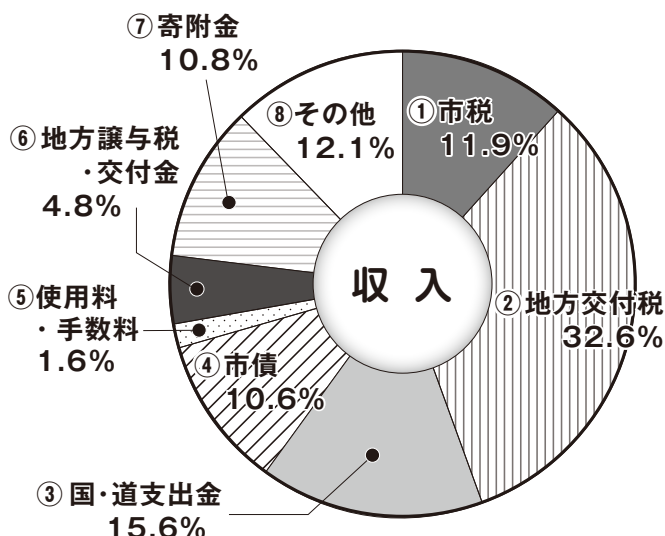
問 市・財務課 Tel 42-1813

令和6年度 決算

一般会計

令和6年度の一般会計は、収入と支出との差引額 13 億 8,739 万円の黒字決算となりましたが、そのうち 10 億 9,921 万円は翌年度事業分の収入であるため、実質的には 2 億 8,818 万円の黒字となります。

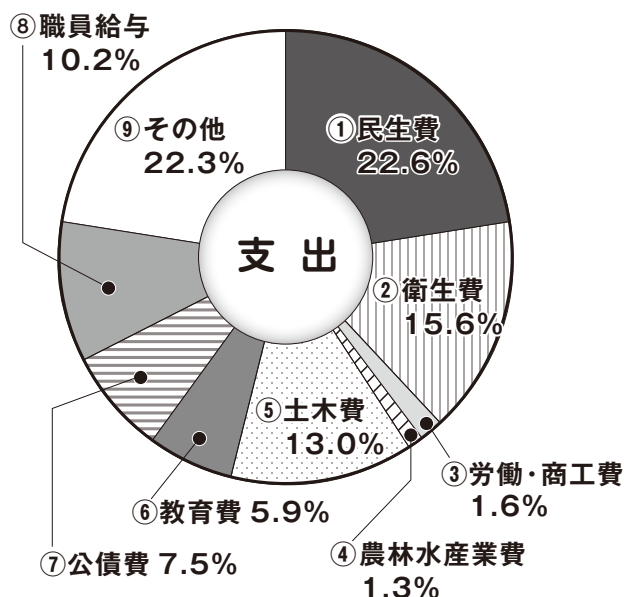
【収入】 180 億 5,820 万円



- ①市 税 21 億 4,803 万円
(市民税や固定資産税など)
- ②地方交付税 58 億 9,592 万円
(市の財政力に応じて国から交付)
- ③国・道支出金 28 億 1,451 万円
(国や道からの負担金や補助金)
- ④市 債 19 億 1,501 万円
(市の借入金)
- ⑤使用料・手数料 2 億 7,971 万円
(市が所有する公共施設の使用料など)
- ⑥地方譲与税・交付金 8 億 5,749 万円
(国税に対して一定の割合で国から譲与)
- ⑦寄 附 金 19 億 4,863 万円
(ふるさと納税をはじめとした留萌市応援寄附金)
- ⑧そ の 他 21 億 9,890 万円
(基金からの繰入金、前年度からの繰越金など)

【支出】 166 億 7,081 万円

- ①民 生 費 37 億 6,353 万円
(子育て支援や障がい者福祉、生活保護など)
- ②衛 生 費 25 億 9,348 万円
(各種健診(検診)、予防接種、ごみ処理など)
- ③労働・商工費 2 億 7,671 万円
(勤労者福祉対策や観光振興、地域経済対策など)
- ④農林水産業費 2 億 0,982 万円
(農林水産業支援など)
- ⑤土 木 費 21 億 6,988 万円
(道路の整備や公園・市営住宅の管理など)
- ⑥教 育 費 9 億 8,952 万円
(小・中学校の運営やスポーツ・芸術文化振興など)
- ⑦公 債 費 12 億 4,512 万円
(借入金の返済金)
- ⑧職員給与費 16 億 9,539 万円
(市職員の給与や退職手当など)
- ⑨そ の 他 37 億 2,736 万円
(総務費や消防費、議会費、災害復旧費など)



特別会計

令和6年度特別会計は、全会計において黒字決算または収支均衡となっています。

特 別 会 計	収 入	支 出	差 引 額
国民健康保険事業	18億4,266万円	18億4,180万円	+ 86万円
後期高齢者医療事業	4億0,952万円	4億0,896万円	+ 56万円
介護保険事業	22億8,541万円	22億1,909万円	+ 6,632万円
港湾事業	1億1,875万円	1億1,875万円	± 0万円
合 計	46億5,634万円	45億8,860万円	+ 6,774万円

企業会計

令和6年度決算では、病院事業において令和元年度決算以来となる資金不足が発生しています。

企 業 会 計	流 動 資 産	流 動 負 債	差 引 額
下水道事業	2億4,063万円	2億3,246万円	+ 817万円
水道事業	6億1,472万円	2億9,337万円	+ 3億2,135万円
病院事業	7億8,986万円	14億0,939万円	- 6億1,953万円
合 計	16億4,521万円	19億3,523万円	- 2億9,002万円

(会計ごとに四捨五入しているため、合計と一致しません。)

健全化判断比率および資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、健全化判断比率および資金不足比率を算定しています。令和6年度の財政状況は、全ての比率で国の基準を下回っています。

●健全化判断比率 (%)

指 標 名	令和6年度 市の財政状況	国の基準値 早期健全化(財政再生)
実質赤字比率	-	13.82 (20.00)
連結実質赤字比率	-	18.82 (30.00)
実質公債費比率	8.8	25.0 (35.0)
将来負担比率	-	350.0 (-)

●資金不足比率 (%)

対象公営企業会計	令和6年度 資金不足状況	国の基準値 経営健全化
港湾事業	-	20.0
下水道事業	-	20.0
水道事業	-	20.0
病院事業	16.3	20.0

- 【実質赤字比率】財政規模(税収入額に交付税などを加えた額)に対する一般会計の実質赤字額の比率
【連結実質赤字比率】財政規模に対する全ての会計の実質赤字額の比率
【実質公債費比率】財政規模に対する一般会計で実質的に負担する地方債などの返済金の比率
【将来負担比率】財政規模に対する将来負担する実質的な負債残高の比率
【資金不足比率】公営企業の事業規模に対する資金の不足額

令和6年度の決算状況は、物価高騰やデジタル化の推進など社会情勢の変化に伴い、市の財政負担が増えている中、病院事業会計においてもコロナ禍をきっかけとする受療行動の変化や常勤医派遣の縮小に伴う患者の減少により、医業収益が激減するなど、令和元年度決算以来となる資金不足が生じました。

市民の皆さんが安心して生活を送ることができるよう、地域医療課題の解決に向けた検討や地域経済対策を効果的に実施し、国や北海道との連携のほか、寄附金などの財源を活用して行政課題の解決に取り組むとともに、中期財政計画に基づき今後の財政負担を的確に捉えながら、引き続き健全で持続可能な財政運営を進めていきます。

令和6年度決算状況に関する
ページ(市HP)QR▶

